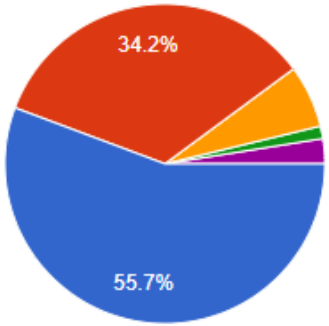
# 令和５年度 高島第三小学校 学校評価(保護者)

- よくあてはまる
- あてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

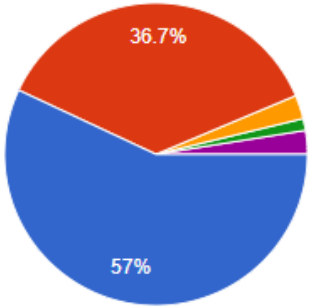
## １．子どもたちは明るく、楽しく学習している。



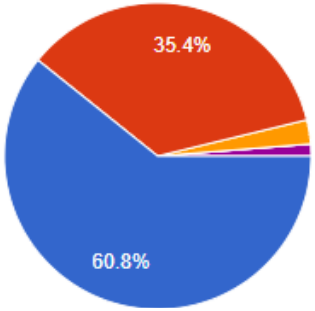

「あまりあてはまらない、あてはまらない」が 7.6%と高い値を示している。一斉指導だけではなく、活動や話し合い等を取り入れ、学んで楽しい授業づくりを実践していく。

## ２．教職員は、子どもたちのことをよく理解しようと努めている。

概ね高い評価となっている。児童の成長は一人一人の児童理解からスタートする。日常の児童観察、保護者との連絡や個人面談等で家庭と連携をとり、教育活動を進めていく。



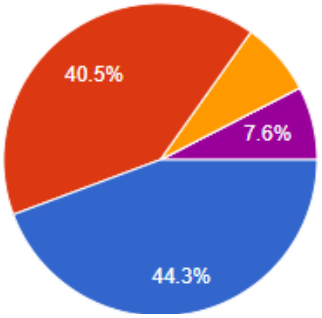

## ３．教職員は、保護者の相談に誠意をもって応じている。




大きな事案については、教員のみではなく、スクールカウンセラーや関係機関と連携を図り、児童の問題を解決していく。スクールカウンセラーの予約は副校長までお願いします。

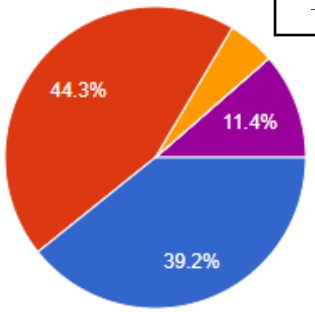
## ４．学校は、授業形態の工夫、個に応じた支援等で、学力の向上に努めている。

学力向上は、本校の重点課題です。手立てとして「読み解く力」の育成の授業研究を行っている。今後、個別最適な学習形態にも取り組んでいく。



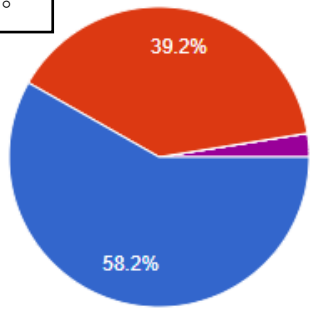
- よくあてはまる
- あてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

5．学校は、道徳の授業や交流活動等を通して、豊かな心の育成に努めている。



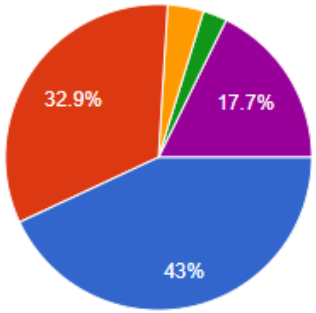

計画的に道徳の授業を実施している。「いじめ」については重点的に考える機会を設けている。また、都立高島特別支援学校や障がい者との交流を通し、豊かな心の育成を推進している。

6．学校は体育の授業や縄跳び月間等を通して、体力向上について努めている。



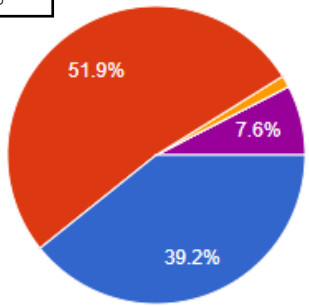

熱中症指数値が高い時は運動を中止した。体育の授業では運動量を確保し、授業を進めている。授業以外では 11･12 月のマラソン月間、１月の短縄月間の機会を設け取り組んでいる。

7．学校は、あいさつや集団生活のきまりについて指導している。



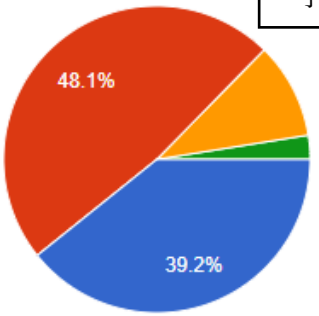

週の生活目標として取り上げ、日常的に指導を行っている。朝・帰り、授業の始め・終わりのあいさつは随時、集団生活のきまりは長期休業前に必ず指導をしている。学年に応じて自分たちで学級・学校のきまりを調整していくようにする。

8．学校は、避難訓練や環境整備等で子どもたちの安全に対する配慮をしている。



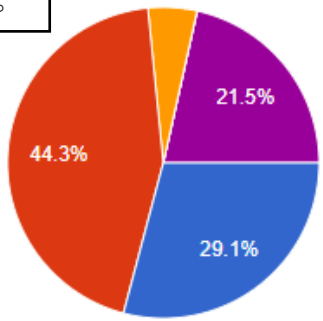

地震・火災等の想定や指導項目を設定し、月１回の避難訓練、安全指導・安全点検を行っている。４年生は地域の安全マップづくり、５年生は保健体育の授業で「けがの予防」で安全に関する学習を行っている。

9．学校は、個人面談や学校公開、各種便り、HP 等で子どもたちの様子を伝えている。




個人面談や学校公開は充実した。HP においては、児童の様子をお伝えする「できごと」の配信が充実できなかったことは大変申し訳ございません。担当分掌を明確にし、進めていく。

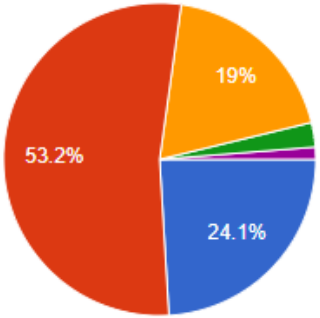
10．学校は、保護者や地域、中学校等と連携・協力した教育を行っている。



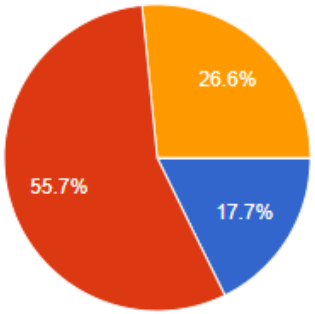

学校愛・地域愛を育むｉカリキュラムに大きくかかわりがある。コーディネーターを介して、多くの方に高三サポーターズとしてボランティアをいただいた。６年生のキャリア教育でも多くのゲストティーチャーを招き、学習を進めた。みどりの学びのエリアでは４校合同研修を行っている。

- よくあてはまる
- あてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

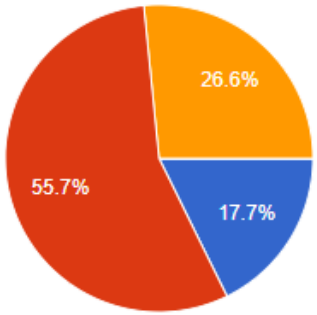
11. 早寝・早起きをして十分な睡眠をとっている。




12. バランスのよい食事をしている。



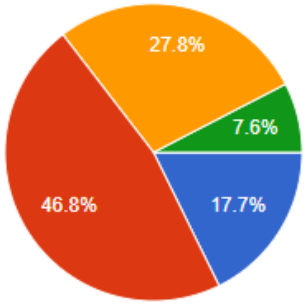

13. 家庭学習の習慣が身に付いている。



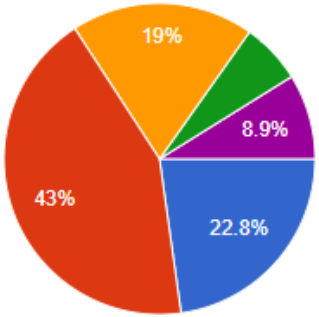

11. 12. 13. 14. 15. 16. については、学校のみならず、地域や家庭と連携を図り進めていく必要がある。

今後、ＰＴＡや保護者会等で話題にあげたり、ｉＣＳ委員会等の熟議で取り上げたりし、家庭・学校・地域で取り組む体制づくりを行う。

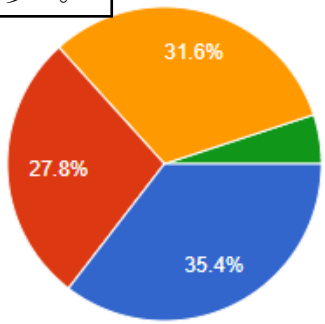
14. 忘れ物をしないように準備ができている。




15. 明るく元気なあいさつができている。




16. 放課後や休日は、外で遊んだりうんどうしたりすることが多い。



## 自由記述から

〇ホームページ上でお知らせ、たよりなどの更新が遅い。ホームページの学校日記の更新をしていただけると、学校の様子が分かって嬉しいです。
・学年だより、学校だよりは前月最終日に発行していく。大きな行事等の変更はできるだけ早くお知らせできるようにいたします。大きな行事などは年間の予定をご覧いただき、ご予定ください。校内体制を整え、HP「できごと」の充実に努める。
〇高島平新聞にもっと高三小の記事を載せてほしい。
・学校側から掲載をお願いすることではないが、取り上げていただけるような教育活動を展開していく。
〇学校行事がつまらなくなっている。滞りなく早く終わればいい、面倒なことはやらないという思いを感じる。
・行事の実施については学習指導要領や教育課程に沿って行事のねらいを定め実施している。
〇家庭科の先生がいないこと、算数のグループ分けがないことが心配です。
・本校は家庭科の専科教員の配置はない。
・欠員が生じている場合は申請を行い、講師を探したり、応募したりしている。ご存じの通り、全国、都内での人材不足によりなかなか配置が困難な状況である。
〇学年だよりの配信や、出欠確認、担任への伝達事項はホームページ経由ではなく、sumamachi などのアプリを活用してほしい。
・セキュリティの関係上、また、保護者皆様の情報モラル等（保護者の皆様の端末を学校側が管理することはできないことも含む）の状況が把握できないことから、活用は現状で行う。
〇運動会のあとに保護者アンケートがないので、あるほうがよい。
・運動会行事もアンケートをとり、次年度の改善に生かしていく。
〇教員によって学校のきまりが統一されていないように感じる。例えば、柄つきの筆入れを認めている学級とそうでない学級。
　きまりについて、教員間で確認し、統一していく。
〇学年便りだけは手紙で欲しいです。
・プリントアウトができないなどの事情がある場合は担任までお申し出をいただく。
〇10→私の勉強不足かと思いますが、例えば地域や中学校との連携でどのようなものがありますか？みどりの学びエリアの販売会くらいしか思い付きません。中学校の先生方が授業を見にいらしたと聞いたことがありますが、年に 1 回何ですかね？中学の数学の先生が出前授業で授業されたと昨年は聞きましたが、継続されているのでしょうか？そんな内容も HP にあげて下さればいいのになと思います。
・保幼小連携研修会年3回、高三中からの授業見学10回以上、中学校の授業体験、都立高島特別支援学校との交流2年生、5年生各4回、ICS委員会年5回、高三小サポーターズ延べ120人、地域ゲストティーチャーを招いての授業11授業、みどりの学びのエリア4校合同授業参観、協議年3回、高三小教員が高三中へ補習授業1回、地域の公園の活用、資料館見学、など
・HPのアップは項目9
〇保護者会で担任が学校生活の様子を写真や動画を用意して見せてくれたり、他の保護者と子どもの様子を話し合うことで、学校で行っていることの確認がとれたりした。保護者会の開催を希望します。
・ご意見ありがとうございます。対面開催時に保護者同士が情報交換できる場を設けるなど、来年度に向けて検討する。
〇先生方も有給を使って、平日お休み出来るといいなと思っています。全ての人が休みやすい仕組み作りをお願いします。
　・ご理解いただきありがとうございます。学校でも、働き方改革を進めているが、仕組みづくりを学校だけで行うことは不可能であり、限界がある。小さなことですが、例えば、「なぜ、17：45に留守番電話をセットするのか、学校からの連絡を18：30以降に求められる。」、「他団体主催の縄跳び、ドッチボール大会への休日引率は担任が行っている。」、「学校周辺の駐車違反（学校への来校者）を取り締まってほしい」等々である。
〇この他、教員への感謝、励まし、「学校がとても楽しいと言っている。」等、多くのお言葉をいただきました。　　ご協力、ありがとうございました。